



工事箇所
府中新橋

〔建設工事/調査基準価格〕

入札条件及び注意事項

1 入札方式

電子入札システム（以下「システム」という。）を使用して入札を行うこと。（事務取扱は、府中市電子入札実施要領（以下「要領」という。）による。）

ただし、要領第4条第2項の規定に該当する場合は、同条項の定めに従い承認を得て、書面による入札を行うことができる。

2 入札保証金

免除する。

3 契約保証金

（1）契約の保証を必要とする場合

契約保証金の額は、請負代金額の10分の1以上（低価格入札による請負契約の場合は請負代金額の10分の3以上）の額を契約時に納付すること。ただし、金融機関若しくは保証事業会社の保証をもって納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は、履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

（2）契約の保証を必要としない場合

契約者が過去2年間に市、国又は他の地方公共団体と種類及び規模を同じくする契約を2回以上にわたって誠実に履行した実績を有する者であり、かつ、当該契約を履行しないこととなるおそれがないと認める場合は、予定価格が300万円未満の工事について免除する。

4 入札書の提出方法

（1）指定した入札書受付期間に電子入札システムを使用して3桁のくじ番号を記載した入札書を提出すること。

要領で定める手続により書面参加に変更した者は、指定した入札書受付期間に代表者印（届出済代理人の場合は受任者印）を押印し、3桁のくじ番号を記載（くじ番号の記載のない場合は「001」と記載されたものとする。）した入札書を、次の事項を記載した封筒に封入して監理課へ持参のうえ提出すること。

- ① 提出者の商号又は名称
- ② 入札書が在中している旨
- ③ 当該入札等に係る建設工事等の名称及び開札日

5 工事費内訳書

（1）原則として、すべての競争入札において入札時に工事費内訳書の提出を求める。

（2）工事費内訳書の提出を必要としない場合は、入札公告又は指名通知書によって周知する。

（3）内容及び様式

- ① 記載事項
 - ・ 入札者の商号又は名称
 - ・ 代表者名（支店の場合は支店長名等）
 - ・ 工事名
 - ・ 工事費の内訳

② 工事費の内訳の記載について

工事費の内訳は、配布した当該工事に係る仕様書の本工事費内訳書のうち、下記の項目に対応するものの単位、数量及び金額を表示したものとする。

(仕様書の本工事費内訳書に記載してもかまわない。)

<土木関係工事>

本工事費内訳書：費目、工種、種別

<建築・設備関係工事>

内訳書：名称及び摘要欄記載の工種

諸経費は項目ごと（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）に記載すること。

※ その他の工事で工事費内訳書を作成する場合は、原則として土木関係工事に準じて作成すること。

③ 様式

配布した当該工事に係る仕様書に準じて、原則A4判（縦、横自由）で作成し、入札書をシステムで提出する際、システムの機能により添付を行い提出すること。ただし、要領で定める手続きにより書面参加に変更した者は、必要事項を記入し代表者印を押印した内訳書を次の事項を記載した封筒に封入し、指定した入札書受付期間に監理課へ持参のうえ提出すること。

- ・ 商号又は名称
- ・ 内訳書が在中している旨
- ・ 当該入札に係る建設工事の名称及び開札日

(4) 提出を求めた工事費内訳書が次のいずれかに該当する場合は、入札を無効とする。

① 未提出であると認められる場合

- ・ 工事費内訳書の全部又は一部が提出されていない。
- ・ 無関係な書類である。
- ・ 他の工事の工事費内訳書である。

② 記載すべき事項が欠けている場合

- ・ 内訳の記載がない。
- ・ ゼロ計上の項目がある。

③ 記載すべき事項に誤りがある場合

- ・ 対象工事名に誤りがある。
- ・ 提出業者名に誤りがある。
- ・ 工事費内訳書の合計金額と入札金額が一致していない。
- ・ 工事費内訳書の合計金額と各内訳の合計金額が一致していない。

6 落札者の決定方法

(1) 条件付一般競争入札

公告共通事項に記載の手続きによる。

(2) 通常型指名競争入札

開札の結果、落札となるべき同価格の入札した者が二人以上いるときは、これらの者のうち、電子入札システムの電子くじによるくじ引きによって選ばれた者を落札者とする。

7 落札価格

落札価格は、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とする。

8 契約の締結

落札者は、落札決定の通知を受けた日から5日以内に契約を締結するものとし、議会の議決が必要な場合には落札決定の通知を受けた日から5日以内に仮契約を締結し、議決後本契約を締結するものとする。(議会の議決が必要な契約は、予定価格が1億5千万円以上である。)

なお、仮契約を締結した後、本契約を締結するまでの間に府中市建設業者等指名除外要綱に規定する指名除外等の措置を受けたときは、仮契約を解除することができる。

9 設計図書等

(1) 監理課が指定する市ホームページからダウンロード、又は指定があるときは購入することができる。

購入する場合の代金は500円とし、電子媒体(CD-R等に保存されたもの)によるものとする。

10 設計図書に対する質問及び回答

(1) 条件付一般競争入札

入札公告に記載のとおり

(2) 通常型指名競争入札

質問書受付期間 指名の通知を行った日から3日間(市の休日を除く。)

質問回答期限 入札開始日の2日前(市の休日を除く。)

質問書提出方法 監理課に持参又はFAXにより提出 FAX (0847)46-1535

回答方法 市ホームページで閲覧

11 予定価格

(1) 予定価格は、事前公表とする。(予定価格事後公表試行案件は除く。)

① 条件付一般競争入札の場合 公告に記載のとおり

② 通常型指名競争入札の場合 指名通知書に記載のとおり

(2) 当該工事の予定価格を上回る入札を行った場合は失格となり、予定価格を事前に公表した場合には、指名除外の対象となる場合がある。

12 最低制限価格・調査基準価格

「調査基準価格」を設定している。

価格は、事後公表とする。

13 各会計年度の支払限度額

設定していない。

14 前払金

予定価格が300万円以上の請負契約を対象とし、その前払額は、請負代金額の10分の4以内とする。

ただし、入札公告等で別に定めのあるものを除く。

15 中間前払金

請負代金額の10分の2以内とする。ただし、本市が中間前払金の支払条件を満たしていると認めたときに限る。

16 部分払

請負代金額が500万円以上の請負契約を対象とする。

17 入札辞退等

(1) 通常型指名競争入札において、入札を辞退しようとするときは、入札書受付締切予定日時までにシステムを利用して辞退届を提出すること。

(2) 通常型指名競争入札において、入札書受付締切予定日時までにシステムを利用して辞退届を提出しなかった電子入札者は失格とする。

18 建設リサイクル法

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「法」という。）第9条第1項に規定する「対象建設工事」を請け負おうとする者は、落札決定通知の日から5日以内（市の休日を除く。）に、発注者（工事担当課）に対して、「法第12条第1項に基づく書面」を提出し、法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について説明した上で、発注者（監理課）に対して、「法第13条及び省令第4条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

19 公正な入札の確保等

（1）公正な入札の確保に努めるため、入札者は次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- ① 入札者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。
- ② 入札者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。
- ③ 入札者は、落札者の決定前に、他の入札者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。
- ④ 入札者は、市が談合情報等による調査を行う場合には、これに協力しなければならない。

（2）入札者が連合し、又は不穏の行動をなす場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。また、本市が入札談合に関する情報を入手した場合において、市の事情聴取等の結果

- ① 明らかに談合の事実があったと認められる証拠を得た場合には、談合情報対応マニュアルに基づき、入札執行の延期若しくは取りやめ又は無効とする。
- ② 明らかに談合の事実があったと認定できないが、談合の疑いが払拭できない場合は、談合情報対応マニュアルに基づき、入札を無効とすることがある。

20 地場製品の活用

工事用資材等については、地場製品の積極的な活用を努めること。

21 下請契約について

（1）社会保険等未加入対策について

- ① 受注者が、社会保険等未加入建設業者と一次下請契約することを原則禁止する。一次下請業者が社会保険未加入であることが判明した場合は、特別な事情がある場合を除き、受注者に対して次の措置を行う。

措 置	内 容
指名除外の措置	契約違反に該当し、1か月(最大4か月)の指名除外を行う。
工事成績評定点の減点	指名除外措置に伴い、13点(最大20点)の減点を行う。
建設業許可行政庁への通報	一次下請業者に対しては、許可行政庁へ通報する。

また、二次以降の下請業者については、社会保険等に未加入であることが判明した場合は、建設業許可行政庁へ通報する。

- ② 受注者は、社会保険の加入に関する下請指導ガイドラインに基づき、下請企業の指導等に努めること。
- ③ 受注者は、下請企業との契約に当たっては、法定福利費を明示した標準見積書の活

用等により、適正な法定福利費が確保されるよう努めること。

- (2) 当初工事請負代金額が300万円未満の建設工事（舗装工事、法面工事、建築一式工事を除く。）において、「主たる部分」の下請負を行わないこと。

建設工事の主たる部分とは、以下に掲げるもの以外のすべての部分を指し、当該「工事の主たる部分」に該当するか否かの判断は、工事担当課の長及び監督員が行うものとする。

- ① 建設工事が一式工事である場合における他の工事種別に該当する工事
- ② 建設工事が専門工事である場合における他の工事種別に該当する付帯工事
- ③ 仮設工に該当する工事
- ④ 準備工に該当する工事
- ⑤ 雑工に該当する工事
- ⑥ その他基礎的又は準備的工事に該当する工事

また、設計図書において、あらかじめ下請負を認めない部分を指定する場合がある。

あらかじめ指定された部分については、下請契約を締結することができない。

- (3) 市内業者へ発注する土木一式工事の施工に際して、工事の一部を下請させる場合は、以下に掲げるもの以外、原則市内に営業所を有する者に請負わせること。ただし、高度又は特殊な技術を要し技術的に対応できる業者が存在しない等の合理的な理由の届出がなされ承認する場合はこの限りでない。

【理由の届出の必要のない業種】

プレストコンクリート	法面処理	大工
左官	石	屋根
タイル	れんが	ブロック
鋼構造物	鋼橋上部	鉄筋
舗装	しゅんせつ	板金
ガラス	塗装	防水
内装仕上	機械器具設置	熱絶縁
電気通信	造園	さく井
建具	水道施設	消防施設
清掃施設		

- (4) 市外業者へ発注する工事について、下請負する場合には市内業者の積極的な活用を努めること。

2.2 その他

- (1) 入札にあたっては、府中市契約規則、府中市建設工事執行規則、関係法令等及び設計図書等の内容を承諾のうえ入札すること。
- (2) この工事の予算措置について、議会の議決を得られなかったときは、この公告に基づく入札手続は中止し、その場合、本市は入札参加者の被った損害を賠償する責を負わない。
- (3) 提出された書面等は返却しないものとし、公正取引委員会及び警察に提出する場合はあるとともに、府中市情報公開条例に基づく公開請求があった際には公開の対象となる場合がある。
- (4) 入札等に係る費用は、入札者の負担とする。
- (5) 「入札公告」と「入札条件及び注意事項」又は「仕様書共通事項」の記載に相違がある場合、「入札公告」を優先する。
- (6) 指名競争入札において、その入札が1であるときは無効とする。

入 札 条 件

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）第９条第１項に規定する「対象建設工事」（下記《対象工事の定義》参照）を請け負おうとする者は、法第１２条第１項に基づき、法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

また、請負契約の当事者は、法第１３条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成１４年国土交通省令第１７号。以下「省令」という。）第４条に基づき、①分別解体等の方法、②解体工事に要する費用、③再資源化等をするための施設の名称及び所在地、④再資源化等に要する費用について、請負契約に係る書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。

このため、対象建設工事の落札者は、次の事項に留意し、落札決定通知の日から５日以内に、発注者（工事担当課）に対して、「法第１２条第１項に基づく書面」を提出し、法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について説明した上で、発注者（契約担当課）に対して、「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

なお、この場合、当該落札者は、契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について、発注者に請求できない。

- (1) 「法第１２条第１項に基づく書面」は、別紙様式（12 条関係様式）により作成すること。
- (2) 「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」は、別紙（13 条関係様式）により作成すること。
- (3) 「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。
- (4) 「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は、特定建設資材廃棄物の再資源化に要する費用とし、再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとする。

《対象建設工事の定義》

「対象建設工事」とは、次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。

（ア）特定建設資材（１品目以上）

- ①コンクリート
- ②コンクリート及び鉄から成る建設資材
- ③木材
- ④アスファルト・コンクリート

（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計 ８０㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計 ５００㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額 １億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額 ５００万円以上

（注）解体・増築の場合は、各々解体・増築部分に係る床面積をいう。

〔土木工事〕（漁協）

仕様書共通事項

1 共通事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、広島県制定「土木工事共通仕様書」並びに国土交通省制定「土木工事共通仕様書」に基づき実施すること。
- (2) 「設計図書」、「共通仕様書」若しくは「仕様書特記事項」の記載に相違がある場合、又は「設計図書」に定めのない事項については、別途監督員と事前に協議し、その指示に従うこと。

2 工期の設定について（契約約款第31条関係）

本工事の工期は、14日を限度として検査期間を見込んでいますので、工期末の14日前までに工事を完成し、監督員に工事完成届を提出すること。

3 請負代金内訳書及び工程表の提出について（契約約款第3条関係）

- (1) 請負代金内訳書の提出について、入札時に工事費内訳書を提出した場合は、請負代金内訳書の提出について免除する。ただし、低価格入札等で調査が必要な場合は、別に詳細資料の提出を求める場合がある。
- (2) 工程表の提出は、工事請負代金額300万円以上の工事に係る契約については免除する。工事請負代金額300万円未満の工事に係る契約については、監督員と協議し、監督員の承認を受けた場合は免除とする。

4 施工計画書の提出について

工事請負代金額が300万円以上の工事を受注した場合は、工事着手に先立ち施工計画書を監督員に提出すること。

5 現場代理人及び主任技術者・監理技術者の届出等について（契約約款第10条関係）

- (1) 現場代理人及び主任技術者・監理技術者を定めて工事現場に置くときは、現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届を契約締結後14日以内に提出すること。
- (2) 現場代理人及び主任技術者・監理技術者の配置については、「府中市発注工事における技術者等の適正配置について」によるものとする。

6 施工体制台帳の提出等について（契約約款第7条の2関係）

- (1) 建設業法第24条の7第1項の規定により施工体制台帳を作成したときは、その写しを監督員に提出すること。（提出された内容が変更された場合を含む。）
- (2) 受注者は、施工体制台帳の記載事項を遵守し、工事の施工にあたること。
- (3) 受注者は、建設業法施行規則第14条の6により施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示すること。

7 作業員名簿の提出について

監督員への作業員名簿の提出は不要とする。

ただし、監督員が必要と認める場合は、現場において確認することがある。

8 「建設業退職金共済制度」に係る発注者用掛金収納書の提出について

工事請負代金額が300万円以上の工事を受注した場合は、金融機関が発行する掛金収納書を請負契約締結後1ヵ月以内に提出すること。なお、この期間内に収納書を提出できない場合は、あらかじめその理由及び証紙購入予定について申し出ること。

9 「工事实績データ」の作成について

受注者は、受注時又は変更時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は本契約締結後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成后、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録をしなければならない。

なお、共通仮設費率に「CORINS登録にかかる費用」を見込んでいる。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」を工事打合せ簿により監督員に提出しなければならない。

10 建設工事の主たる部分について

建設工事の主たる部分の下請を禁止する工事について、あらかじめ「主たる部分」を指定する場合は、次に掲げるものとする。

主たる部分	
-------	--

記載のない場合は、当初工事請負代金額が300万円未満の建設工事（舗装工事、法面工事、建築一式工事を除く。）において、「主たる部分」の下請負を行わないこと。

建設工事の主たる部分とは、以下に掲げるもの以外のすべての部分を指し、当該「工事の主たる部分」に該当するか否かの判断は、工事担当課の長及び監督員が行うものとする。

- ① 建設工事が一式工事である場合における他の工事種別に該当する工事
- ② 建設工事が専門工事である場合における他の工事種別に該当する付帯工事
- ③ 仮設工に該当する工事
- ④ 準備工に該当する工事
- ⑤ 雑工に該当する工事
- ⑥ その他基礎的又は準備的工事に該当する工事

また、「設計図書」において、あらかじめ下請負を認めない部分を指定する場合がある。あらかじめ指定された部分については、下請契約を締結することができない。

11 その他

工事着手前に関係する漁業協同組合と協議を行い、必要な対応をとること。また、監督員にその内容を報告すること。

仕様書追加事項

1 施工条件について

（施工時期・時間の制限）

当該路線は、バス路線であるため作業により日中の通行止めができない路線となっている。

そのため、通行止めを伴う下記の工事については、夜間施工を想定している。

- ① 舗装工
- ② 橋梁附属物工

2 安全対策について

（交通誘導警備員の配置基準）

当該路線は、バス路線であるため舗装工、橋梁附属物工において夜間施工を実施する。

工事期間中における交通誘導警備員は、3（人／日）配置を見込んでいる。

ただし、工法変更等現場条件に著しく変更が生じる場合、又は関係機関との調整等に伴い上記配置によりがたい場合は、別途監督員と協議すること。

【配置員数】

規 格	配置員数	施工時間	備考
交通誘導警備員 B	102 人	Ⓐ・夜	
交通誘導警備員 B	45 人	昼・Ⓐ	

（交通誘導警備員の資格要件）

受注者は、交通誘導にあたっては、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置すること。

なお、公安委員会が認める交通誘導警備業務の指定路線（認定路線）区間内及び自動車専用道路において交通誘導警備業務を行う場合は、1 名以上の交通誘導警備検定合格者（1 級又は 2 級）を配置すること。

資格	資格要件
交通誘導警備検定合格者 （1 級及び 2 級）	・ 警備業法第 23 条の 1 に定める検定（交通誘導警備）に合格したもの
交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員等	・ 警備業法における基本教育及び業務別教育（警備業法第 2 条第 1 項第 2 号の警備業務）を受けているもの ・ 警備業法における指定講習を受講したもの

特 記 仕 様 書

1. 工事受注者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（アスファルト・コンクリート、コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号。以下「法」という。）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年法律第137号。以下「廃棄物処理法」という。）を遵守し適正に処理しなければならない。
2. 工事受注者は、その請け負った建設工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは、当該他の建設業を営む者に対して、法第12条第2項に基づき、法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について、別紙告知書様式で告げなければならない。
3. 工事受注者は、工事着手前に、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を本工事の監督員に提出しなければならない。
4. 工事受注者は、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督員に提出しなければならない。
5. 本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。
但し、建設資材廃棄物が、破碎等（選別を含む）により有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。
※ 有用物：有価物たる性状を有するもの。有価物は客観的に利用用途に応じて適正な品質を有していなければならない。
6. 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記5. に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

別紙

- (1) 再生資源利用計画書（実施書）様式1・イ
- (2) 再生資源利用促進計画書（実施書）様式2・ロ
- (3) 告知書様式

特 記 仕 様 書

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム（市町利用）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。（システム利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれている。）
- 4 工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、電子納品が困難な場合は、受発注者間で工事関係書類一覧表により事前協議すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

令和 7 年度

府中新橋補修工事

工事価格

消費税相当額

工事費計

府中市 土生町

地内

工事概要

オーバーレイ工A=879m²

伸縮継手工L=42.0m

断面修復工V=0.352m³

表面含浸工A=2951m²

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 72 府中市 00-07.07.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版, t=50 夜間	1	式			Y1G03040201 レベル4 F=0.5
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	20	m			SPK24040306 00
舗装版破碎(小規模) アスファルト舗装版 夜間	20	m			単第0 -0001 表 Y1G03040203 レベル4 F=0.5
舗装版破碎積込(小規模土工)	27	m2			SPK24040018 00
殻運搬 アスファルト殻 夜間	27	m2			単第0 -0002 表 Y1G03040205 レベル4 F=0.5
	1	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	1	m3			SPK24040151 00 単第0 -0003 表
殻処分 アスファルト 夜間	1	m3			Y1G03040206 レベル4 F=0.5
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 アスファルト殻	3	t			F5000 00 株ウツミ
表層 改質As密粒 型20mm, t=50 夜間	27	m2			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	27	m2			SPK24040241 00 単第0 -0004 表
不陸整正 夜間	27	m2			Y4999 レベル4 F=0.5
不陸整正 補足材料有り RM-30 補足材料平均厚さ9mm以上13mm未満	27	m2			SPK24040231 00 単第0 -0005 表
オーバーレイ工	1	式			Y1G030404 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装敷設 夜間	879	m2			Y1G03040401レベル4
クラック抑制薄層舗装工 リフレッシュシールMix-H	879	m2			V0008 00 単第0 -0006 表
区画線工	1	式			Y1G0309レベル2
区画線工	1	式			Y1G030901 レベル3
溶融式区画線 白,実線,15cm,t=1.5 排水性舗装用無し	7	m			Y1G03090101レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	7	m			SDT00001 00 単第0 -0007 表
溶融式区画線 ゼブラ,30cm,t=1.5 排水性舗装用無し	5	m			Y1G03090101レベル4
区画線設置(溶融式) ゼブラ_30cm	5	m			SDT00001 00 単第0 -0008 表
溶融式区画線 ゼブラ,45cm,t=1.5 排水性舗装用無し	18	m			Y1G03090101レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式) ゼブラ_45cm	18	m			SDT00001 00 単第0 -0009 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
鋼製伸縮継手補修 メタルガージョイント相当品 夜間	42	m			Y1G03210101 レベル4
伸縮継手装置設置工(補修) 普通型_1車線相当	42	m			SS000201 00 単第0 -0010 表
伸縮装置 メタルガージョイント相当品 NL-20FLTB 二次止水材含む	42	m			F0001 00
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
支承取替工	1	式			Y1G032402 レベル3
支承防錆工 金属溶射	60	基			Y1G03240201 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支承防錆工 1本線支承 可動：30基、固定30基	60	基			V0002 00 単第0 -0011 表
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
充てん工法 ポリマーセメントモルタル	1	構造物			Y1G03240401 レベル4
ひび割れ補修工(充てん工法) 補修延べ延長20m未満の場合	1	構造物			S1020031 00 単第0 -0016 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.352m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0017 表
表面含侵工	1	式			Y1G032406 レベル3
含侵材塗布 シラン系含侵材	2,951	m2			Y1G03240602 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含侵工 シラン系含侵材 アクアシール1400AR相当品	2,951	m2			V1000 00 単第0 -0018 表
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
道路付属構造物塗装工	1	式			Y1G032502 レベル3
素地調整 3種ケレン	107	m2			Y1G03250201 レベル4
塗替塗装 素地調整	107	m2			SDT00029 00 単第0 -0019 表
下塗 弱溶剤形変性珪酸樹脂塗料,高欄部,2回塗り	107	m2			Y1G03250202 レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	107	m2			SDT00029 00 単第0 -0020 表
中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料,高欄部,1回塗り	107	m2			Y1G03250203 レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	107	m2			SDT00029 00 単第0 -0021 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料,高欄部,1回塗り	107	m2			Y1G03250204レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	107	m2			SDT00029 00 単第0 -0022 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327レベル2
作業土工	1	式			Y1G032704 レベル3
人力積込 無筋コンクリート,積込	0.4	m3			Y1G03270408レベル4
人力積込 コンクリート塊	0.4	m3			SPK24040008 00 単第0 -0023 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 鉄筋コンクリート殻	3	m3			Y1G03271601レベル4
ダンプトラック運搬 人力積込 Co殻(鉄筋) 運搬距離3.8km DID有	3	m3			V1002 00 単第0 -0024 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 無筋コンクリート殻	0.4	m3			Y1G03271601レベル4
ダンプトラック運搬 人力積込 Co殻（無筋） 運搬距離3.8km DID有	0.4	m3			V1001 00 単第0 -0026 表
殻処分 鉄筋コンクリート殻	3	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 鉄筋コンクリート殻	7	t			F5003 00 株ウツミ
殻処分 無筋コンクリート殻	0.4	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 無筋コンクリート殻	0.8	t			F5001 00 株ウツミ
現場発生品運搬 鉄屑（ヘビーH2）	1	回			Y1G03271603レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)	1.37	t			SPK24040410 00 単第0 -0027 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 鉄屑 ヘビーH2	1.37	t			F5002 00 平川金属(株)
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
仮設足場設置工	1	式			Y3999 レベル3
足場	930	m2			Y4999 レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	930	m2			S3030011 00 単第0 -0028 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔	930	m 2			S3030013 00 単第0 -0029 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	930	m 2			S3030015 00 単第0 -0030 表

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員 昼間					Y1G03282101レベル4
	102	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	102	人			
交通誘導警備員 夜間					Y1G03282101レベル4 F=0.5
	45	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
設計労務単価の補正割増し(1.5)					
	45	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0013

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0015

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK24040018

単第0 -0002 表

1
標準単価：
m2 当り
1,690.80000

機械構成比： 20.80% 労務構成比： 71.28% 材料構成比： 7.92% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0017

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 18.57%
SPK24040151
DID区間有り
運搬距離4.5km以下(3.5km超)
72.35%
労務構成比:
材料構成比: 9.08%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0003 表
標準単価: 1
m3 当り
4,025.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=2 E=1 舗装版破碎 DID区間有り -(全ての費用)			B=4 D=20 機械積込(小規模土工) 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0018

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0004 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,852.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト混合物 改質II型密粒度(20)	52.51%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0044 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.54%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0019

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0004 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

2,852.90000

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.16%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=10 改質As 密粒 II型(20) DS3000 G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=2 夜間割増有		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0020

不陸整正

SPK24040231

単第0 -0005 表

補足材料有り RM-30

補足材料平均厚さ9mm以上13mm未満

1

m2 当り

機械構成比: 20.37%

労務構成比:

60.70%

材料構成比: 18.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

141.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	9.95%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	7.87%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.55%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	38.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	11.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	8.45%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	2.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
再生粒度調整碎石 30～0mm	11.86%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00010 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.07%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0021

不陸整正

SPK24040231

單第0 -0005 表

補足材料有り RM-30

補足材料平均厚さ9mm以上13mm未満

1

m2 当り

機械構成比: 20.37%

勞務構成比：

60.70%

材料構成比: 18.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

141.26000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

クラック抑制薄層舗装工
リフレッシュシールMix-H

V0008

単第0 -0006 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
リフレッシュシール混合物 ポリマー改質 型	5.64	t			
リフレッシュシール混合物 夜間割増	5.64	t			
アスファルト乳剤 タック性改質	43	L			
アスファルトフィニッシュ運転費 ホイール型 2.4～6.0m	0.11	日			
振動ローラ運転費 コンバインド型 3～4 t 排出ガス対策型	0.11	日			
タイヤローラ運転費 排出ガス対策型 8～20 t	0.11	日			
土木一般世話役 夜間施工	0.11	人			
特殊作業員 夜間施工	0.34	人			
普通作業員 夜間施工	0.68	人			
雑材料	19	%			#01
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0023

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0007 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0024

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0007 表

実線 15cm

1000

m

当日

[illegible]

施工単価表

区画線設置(熔融式)

SDT00001

単第0 -0008 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_熔融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_30cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 熔融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,186.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	52.500	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	52.500	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	80.850	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=11 ゼブラ_30cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0026

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0008 表

ゼブラ 30cm

m

当日

[illegible]

施工単価表

区画線設置(熔融式)

SDT00001

単第0 -0009 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_熔融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 熔融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	93.450	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=12 ゼブラ_45cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0028

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0009 表

ゼブラ 45cm

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

伸縮継手装置設置工(補修)

SS000201

單第0 -0010 表

普通型 1車線相当

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

支承防錆工

1 本線支承

V0002

可動：30基、固定30基

單第0 -0011 表

60

基 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

1 本線支承

V0003

單第0 -0012 表

1 基 当り

[illegible]

施工単価表

材料費

V0004

単第0 -0013 表

頁0 -0032

10

基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
潤滑剤 二硫化モリブデン	1	L			
研掃材 一般用	600	kg			
溶射地金 亜鉛・アルミ合金線	10	kg			
封孔処理剤 エポキシ樹脂塗料	2	kg			
上塗り塗料 エポキシ樹脂塗料	10	kg			
雑材料	10	%			#01 雑材、シンナー等
*** 合計 ***	10	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工単価表

頁0 -0033

施工費

V0005

單第0 -0014 表

10

基 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

防護シート簡易養生工

V0006

單第0 -0015 表

6

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積0.352m3

単第0 -0017 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	8.096	人			
特殊作業員	13.376	人			
普通作業員	8.800	人			
ポリマーセメントモルタル	0.415	m3			
諸雑費	11	%			建設物価2025.07 #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.352 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.352 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=1 【F】断面修復材(m3)		

施工単価表

頁0 -0037

表面含侵工
シリオン系含侵材

V1000
アクアシール1400AR相当品

單第0 -0018 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

塗替塗装
素地調整

SDT00029

單第0 -0019 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0020 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0021 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

單第0 -0022 表

1 m2 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

人力積込
コンクリート塊

SPK24040008

單第0 -0023 表

標準単価：¹

m3 当り
4,780.00000

機械構成比: 0.00% 勞務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場單價構成比: 0.00%

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

ダンプトラック運搬 人力積込

V1002
Co殼（鉄筋） 運搬距離3.8km DID有

單第0 -0024 表

10 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル・2 t 積級

S9050

単第0 -0025 表

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	25.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.17	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.17	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 オンロード・ディーゼル・2 t 積級 C=25 軽油消費量 (L / 日) E=1 路面状況：良好 G=0 労務単価の夜間等割増率			B=1 運転労務数量 (人 / 日) D=1.17 機械損料数量 (供用日 / 日) F=1		

施工単価表

頁0 -0045

ダンプトラック運搬
人力積込

V1001
Co殼（無筋） 運搬距離3.8km DID有

單第0 -0026 表

10 m3 当り

[illegible]

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t級2.9t吊
機械構成比: 13.58% 労務構成比: 83.54% 材料構成比: 2.88% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040410
片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)

単第0 -0027 表
1
標準単価: 2,604.80000
t 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=5 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0047

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0028 表

桁高1.5m未満

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0029 表

1 m 2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0030 表

シート張防護工

西側朝顔

$$\underline{m^2}$$

当り

[illegible]

7-1. 数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	数量 単位	当初設計数量		備 考
工事区分	工 種	種 別	細 別	規 格		設計数量	計上数量	
橋梁保全工事	舗装工	舗装打換え工	舗装版切斷	舗装版切斷	m	19.6	20	
				アスファルト舗装版厚15cm以下				
			舗装版破砕(小規模)	舗装版破砕積込(小規模土工)	m2	26.8	27	
			殻運搬	殻運搬	m3	1.3	1	
				アスファルト殻				
			殻処分	処分費	t	3.1	3	
				アスファルト殻				
			表層	表層(車道・路肩部)	m2	26.8	27	
				改質As密粒Ⅱ型20mm、t=50				
			不陸整正	不陸整正	m2	26.8	27	
				補足材料有り RM-30				
		オーバーレイ工	舗装敷設	クラック抑制薄層舗装	m2	878.5	879	
				リフレッシュシールMix相当品				
	区画線工	区画線工	溶融式区画線	区画線設置(溶融式)	m	6.8	7	
				白、実線, 15cm, t=1.5				
				区画線設置(溶融式)	m	4.8	5	
				ゼブラ, 30cm, t=1.5				
				区画線設置(溶融式)	m	18.0	18	
				ゼブラ, 45cm, t=1.5				
	橋梁付属物工	伸縮継手工	鋼製伸縮継手補修	伸縮継手装置設置工(補修)	m	42.0	42.0	
				メタルガージョイント相当品				
	橋梁補修工	支承取替工	支承防錆工	支承防錆工	基	60.0	60	
				金属溶射				
		ひび割れ補修工	充てん工法	ひび割れ補修工(充てん工法)	m3	0.00002	0.00002	
				ポリマーセメントモルタル				
		断面修復工	左官工法	断面修復工(左官工法)	m3	0.3517	0.352	
				ポリマーセメントモルタル				
		表面含侵工	含侵材塗布	表面含侵工	m2	2951.4	2951	
				アクアシール1400AR相当品				
	現場塗装工	道路付属構造物塗装工	素地調整	塗替塗装	m2	107.4	107	
				3種ケレン				
			下塗	塗替塗装	m2	107.4	107	
				弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料, 2回塗り				
			中塗	塗替塗装	m2	107.4	107	
				弱溶剤形ふっ素樹脂塗料, 1回塗り				
			上塗	塗替塗装	m2	107.4	107	
				弱溶剤形ふっ素樹脂塗料, 1回塗り				
	構造物撤去工	作業土工	人力積込	人力積込	m3	0.4	0.4	
				無筋コンクリート殻				
		運搬処理工	殻運搬	ダンプトラック運搬	m3	2.6	3	
				鉄筋コンクリート殻				
				ダンプトラック運搬	m3	0.4	0.4	
				無筋コンクリート殻				
			殻処分	処分費	t	6.5	7	
				鉄筋コンクリート殻				
				処分費	t	0.8	0.8	
				無筋コンクリート殻				
			現場発生品運搬	現場発生品及び支給品運搬	t	1.37	1.37	
				クレーン装置付BT2t縦2.9t吊				
				処分費	t	1.37	1.37	
				鉄屑 (ヘビーH2)				
	仮設工	仮設足場設置工	足場	足場工(床版補強工)	m2	932.8	930	併用日数
				桁高1.5m未満				3.7カ月
				足場工(朝顔・床版補強工)	m2	932.8	930	
				両側朝顔				
				防護工(床版補強工)	m2	932.8	930	
				シート張防護工				
		交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B	人	102.0	102	
				昼間				
				交通誘導警備員B	人	45.0	45	
				夜間				

7-2-3. 舗装補修工

(1) 舗装敷設 (t=20mm)

$$A = 24.402 \times 6.0 \times 6 = 878.5 \text{m}^2$$

(2) As舗装版切断

$$L = 9.6 + 10.0 = 19.6 \text{m}$$

(3) As舗装版破碎積込

$$A = (9.60 + 6.00) \times 1/2 \times 1.8 + (6.00 + 10.00) \times 1/2 \times 1.6 = 26.8 \text{m}^2$$

(4) 殻運搬

$$V = 26.8 \times 0.05 = 1.3 \text{m}^3$$

(5) 殻処分

$$W = 1.3 \times 2.35 = 3.1 \text{t}$$

(6) 表層 (t=50mm)

$$A = (9.60 + 6.00) \times 1/2 \times 1.8 + (6.00 + 10.00) \times 1/2 \times 1.6 = 26.8 \text{m}^2$$

(7) 不陸整正

$$A = (9.60 + 6.00) \times 1/2 \times 1.8 + (6.00 + 10.00) \times 1/2 \times 1.6 = 26.8 \text{m}^2$$

7-2-8. 区画線工

- (1) 溶融式区画線（白, 実線, 15cm, t=1.5）

$$L = 2 \times (1.8 + 1.6)$$

$$= 6.8\text{m}$$

- (2) 溶融式区画線（ゼブラ, 30cm, t=1.5）

$$L = 2 \times 2.4$$

$$= 4.8\text{m}$$

- (3) 溶融式区画線（ゼブラ, 45cm, t=1.5）

$$L = 6 \times 3.0$$

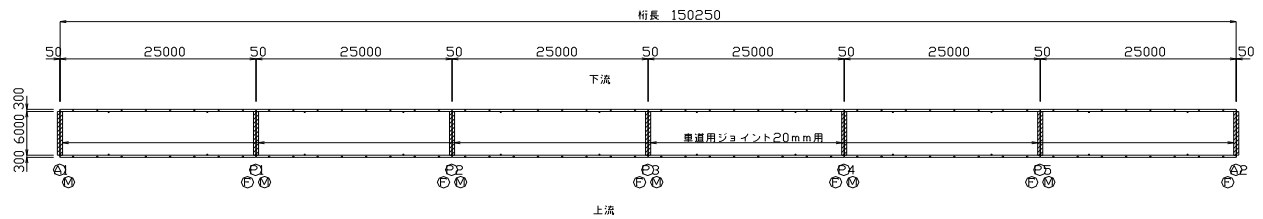
$$= 18.0\text{m}$$

7-2. 数量内訳

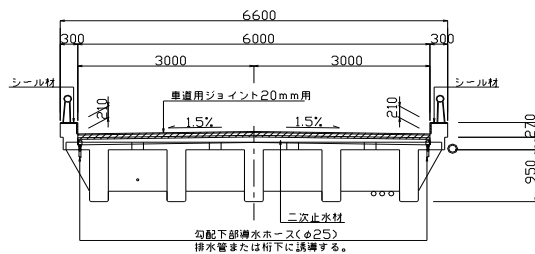
7-2-1. 伸縮装置補修工

(1) 設置工

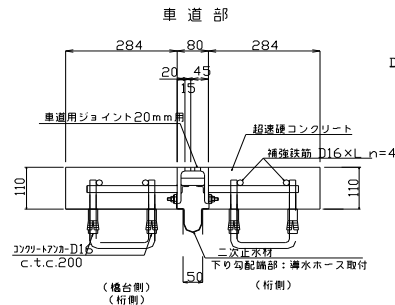
平面図 S=1:300



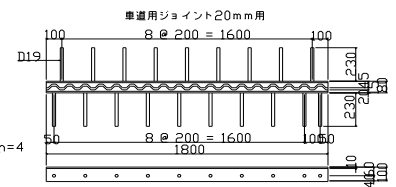
断面図 S=1:40



取付断面図 S=1:6



製品図 S=1:15



(a) 伸縮装置設置延長

A1 : L=	6.000	=	6.000m
P1 : L=	6.000	=	6.000m
P2 : L=	6.000	=	6.000m
P3 : L=	6.000	=	6.000m
P4 : L=	6.000	=	6.000m
P5 : L=	6.000	=	6.000m
A2 : L=	6.000	=	6.000m
Σ		=	42.000m

(b) 二次止水材 B型W止水材 止水壁(排水口)付属

A1 : L=	6.000	=	6.000m
P1 : L=	6.000	=	6.000m
P2 : L=	6.000	=	6.000m
P3 : L=	6.000	=	6.000m
P4 : L=	6.000	=	6.000m
P5 : L=	6.000	=	6.000m
A2 : L=	6.000	=	6.000m
Σ		=	42.000m

(c) 超速硬コンクリート

A1 : V=	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P1 : V=	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P2 : V=	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P3 : V=	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P4 : V=	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P5 : V=	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
A2 : V=	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
Σ		=	2.59m ³

(d) 補強鉄筋 D16×L

A1 : W=	$4 \times 6.0 \times 1.56$	=	37.4kg
P1 : W=	$4 \times 6.0 \times 1.56$	=	37.4kg
P2 : W=	$4 \times 6.0 \times 1.56$	=	37.4kg
P3 : W=	$4 \times 6.0 \times 1.56$	=	37.4kg
P4 : W=	$4 \times 6.0 \times 1.56$	=	37.4kg
P5 : W=	$4 \times 6.0 \times 1.56$	=	37.4kg
A2 : W=	$4 \times 6.0 \times 1.56$	=	37.4kg
		Σ	= 261.8kg

(e) コンクリートアンカー D16@200

A1 : n=	$6 \div 0.20 \times 4$	=	120本
P1 : n=	$6 \div 0.20 \times 4$	=	120本
P2 : n=	$6 \div 0.20 \times 4$	=	120本
P3 : n=	$6 \div 0.20 \times 4$	=	120本
P4 : n=	$6 \div 0.20 \times 4$	=	120本
P5 : n=	$6 \div 0.20 \times 4$	=	120本
A2 : n=	$6 \div 0.20 \times 4$	=	120本
		Σ	= 840本

(f) 地覆防水処理 シリコンシーラ材

A1 : ℓ =	$2 \times (0.30+0.21) \times 0.05 \times 0.02 \times 1000$	=	1.00
P1 : ℓ =	$2 \times (0.30+0.21) \times 0.05 \times 0.02 \times 1000$	=	1.00
P2 : ℓ =	$2 \times (0.30+0.21) \times 0.05 \times 0.02 \times 1000$	=	1.00
P3 : ℓ =	$2 \times (0.30+0.21) \times 0.05 \times 0.02 \times 1000$	=	1.00
P4 : ℓ =	$2 \times (0.30+0.21) \times 0.05 \times 0.02 \times 1000$	=	1.00
P5 : ℓ =	$2 \times (0.30+0.21) \times 0.05 \times 0.02 \times 1000$	=	1.00
A2 : ℓ =	$2 \times (0.30+0.21) \times 0.05 \times 0.02 \times 1000$	=	1.00
		Σ	= 7.00

(2) 撤去工

(a) 伸縮装置本体(32.6kg/m)

A1 : L=	6.000	=	6.000m
P1 : L=	6.000	=	6.000m
P2 : L=	6.000	=	6.000m
P3 : L=	6.000	=	6.000m
P4 : L=	6.000	=	6.000m
P5 : L=	6.000	=	6.000m
A2 : L=	6.000	=	6.000m
		Σ	= 42.000m

A1 : W=	6.0×32.6	=	195.6kg
P1 : W=	6.0×32.6	=	195.6kg
P2 : W=	6.0×32.6	=	195.6kg
P3 : W=	6.0×32.6	=	195.6kg

P4 : W =	6.0×32.6	=	195.6kg
P5 : W =	6.0×32.6	=	195.6kg
A2 : W =	6.0×32.6	=	195.6kg
Σ		=	1369.2kg

(b) コンクリート取壊し

A1 : V =	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P1 : V =	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P2 : V =	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P3 : V =	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P4 : V =	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
P5 : V =	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
A2 : V =	$(0.284 \times 0.11 + 0.284 \times 0.11) \times 6.0$	=	0.37m ³
Σ		=	2.59m ³

$\Sigma W =$	2.59×2.50	=	6.5 t
--------------	--------------------	---	-------

7－2－6．支承防錆工

工 種	種 別	単位	数 量	摘 要
支承防錆工	線支承(可動)、反力215kN	基	30	支承若返り工法相当
	線支承(固定)、反力215kN	基	30	支承若返り工法相当

7－2－4．ひび割れ充填工

No.	充填幅 W(mm)	充填長 L(mm)	充填厚 t(mm)	補修材(m ³)		備 考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
	10.00	400	10.00	0.000020	0.000024	
合 計		400	－	0.000020	0.000024	

7-2-5. 断面修復工

(1) 床版及びG1～G5間横桁

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
①	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
②	200	50	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
③	300	150	5	0.0002	0.0002	ジャンカ
④	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑤	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑥	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑦	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑧	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑨	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑩	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑪	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
⑫	200	100	5	0.0001	0.0001	ジャンカ
⑬	200	150	5	0.0002	0.0002	ジャンカ
⑭	100	200	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
⑮	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
⑯	250	50	60	0.0008	0.0009	剥離・鉄筋露出
⑰	150	100	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
⑱	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
⑲	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
⑳	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
㉑	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
㉒	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
㉓	50	150	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
㉔	100	250	60	0.0015	0.0018	剥離・鉄筋露出
㉕	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
㉖	100	250	60	0.0015	0.0018	剥離・鉄筋露出
㉗	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
㉘	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
㉙	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
㉚	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
㉛	100	150	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
㉜	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
㉝	250	50	60	0.0008	0.0009	剥離・鉄筋露出
㉞	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
㉟	400	50	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
㊱	150	100	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
㊲	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
㊳	250	50	60	0.0008	0.0009	剥離・鉄筋露出
㊴	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
㊵	350	50	60	0.0011	0.0013	剥離・鉄筋露出
小計				0.0204	0.0241	

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
41	200	50	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
42	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
43	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
44	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
45	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
46	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
47	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
48	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
49	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
50	400	50	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
51	300	50	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
52	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
53	350	100	60	0.0021	0.0025	剥離・鉄筋露出
54	400	100	60	0.0024	0.0028	剥離・鉄筋露出
55	200	100	5	0.0001	0.0001	ジャンカ
56	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
57	150	150	60	0.0014	0.0017	剥離・鉄筋露出
58	200	100	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
59	400	50	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
60	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
61	400	100	60	0.0024	0.0028	剥離・鉄筋露出
62	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
63	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
64	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
65	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
66	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
67	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
68	200	50	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
69	300	50	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
70	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
71	400	50	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
72	250	150	60	0.0023	0.0027	剥離・鉄筋露出
73	250	150	60	0.0023	0.0027	剥離・鉄筋露出
74	400	50	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
75	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
76	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
77	400	50	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
78	100	150	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
79	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
80	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
小計				0.0309	0.0362	

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
81	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
82	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
83	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
84	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
85	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
86	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
87	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
88	300	50	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
89	200	150	60	0.0018	0.0021	剥離・鉄筋露出
90	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
91	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
92	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
93	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
94	150	100	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
小計				0.0062	0.0070	
合計				0.0575	0.0673	

(2) 主桁及びG1、G5外横桁

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
①	800	150	60	0.0072	0.0085	剥離・鉄筋露出
②	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
③	150	100	60	0.0009	0.0011	うき
④	150	200	60	0.0018	0.0021	うき
⑤	100	200	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
⑥	50	150	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
⑦	200	100	5	0.0001	0.0001	ジャンカ
⑧	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
⑨	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑩	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
⑪	50	100	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
⑫	250	100	60	0.0015	0.0018	剥離
⑬	300	100	60	0.0018	0.0021	剥離・鉄筋露出
⑭	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
⑮	150	100	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
⑯	200	150	60	0.0018	0.0021	剥離・鉄筋露出
⑰	350	100	5	0.0002	0.0002	ジャンカ
⑱	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
⑲	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
⑳	100	600	60	0.0036	0.0042	剥離・鉄筋露出
㉑	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
㉒	150	150	60	0.0014	0.0017	剥離・鉄筋露出
㉓	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
㉔	850	130	100	0.0111	0.0131	剥離・鉄筋露出
㉕	100	200	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
㉖	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
小計				0.0394	0.0465	

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
27	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
28	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
29	200	50	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
30	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
31	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
32	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
33	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
34	250	50	60	0.0008	0.0009	剥離・鉄筋露出
35	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
36	200	350	60	0.0042	0.0050	剥離・鉄筋露出
37	200	300	60	0.0036	0.0042	剥離・鉄筋露出
38	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
39	700	100	60	0.0042	0.0050	剥離・鉄筋露出
40	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
41	150	150	60	0.0014	0.0017	剥離・鉄筋露出
42	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
43	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
44	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
45	50	100	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
46	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
47	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
48	100	150	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
49	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
50	50	50	200	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
51	50	100	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
52	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
53	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
54	150	150	60	0.0014	0.0017	剥離・鉄筋露出
55	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
56	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
57	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
58	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
59	100	150	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
60	150	150	60	0.0014	0.0017	剥離・鉄筋露出
61	250	100	60	0.0015	0.0018	剥離・鉄筋露出
62	200	100	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
63	50	100	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
64	150	150	60	0.0014	0.0017	剥離・鉄筋露出
65	50	200	60	0.0006	0.0007	うき
66	150	300	60	0.0027	0.0032	剥離・鉄筋露出
小計				0.0360	0.0430	

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
67	800	50	50	0.0020	0.0024	剥離・鉄筋露出
68	100	200	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
69	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
70	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
71	400	50	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
72	400	200	60	0.0048	0.0057	剥離・鉄筋露出
73	200	100	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
74	200	100	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
75	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
76	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
77	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
78	150	150	60	0.0014	0.0017	うき
79	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
80	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
81	50	250	60	0.0008	0.0009	剥離・鉄筋露出
82	200	100	5	0.0001	0.0001	ジャンカ
83	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
84	150	50	50	0.0004	0.0005	剥離・鉄筋露出
85	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
86	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
87	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
88	850	100	50	0.0043	0.0051	剥離・鉄筋露出
89	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
90	100	700	60	0.0042	0.0050	剥離・鉄筋露出
91	100	200	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
92	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
93	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
94	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
95	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
96	650	100	60	0.0039	0.0046	剥離・鉄筋露出
97	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
98	400	100	60	0.0024	0.0028	剥離・鉄筋露出
99	300	100	60	0.0018	0.0021	剥離・鉄筋露出
100	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
101	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
102	200	50	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
103	100	300	60	0.0018	0.0021	剥離・鉄筋露出
104	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
105	150	150	60	0.0014	0.0017	剥離・鉄筋露出
106	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
小計				0.0431	0.0508	

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
107	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
108	200	100	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
109	300	200	50	0.0030	0.0035	剥離・鉄筋露出
110	250	50	50	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
111	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
112	750	50	50	0.0019	0.0022	剥離・鉄筋露出
113	80	80	60	0.0004	0.0005	剥離・鉄筋露出
114	300	100	50	0.0015	0.0018	剥離・鉄筋露出
115	300	200	60	0.0036	0.0042	剥離・鉄筋露出
116	200	100	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
117	100	200	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
118	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
119	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
120	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
121	500	800	60	0.0240	0.0283	剥離・鉄筋露出
122	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
123	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
124	800	50	50	0.0020	0.0024	剥離・鉄筋露出
125	200	50	50	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
126	200	100	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
127	100	100	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
128	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
129	150	100	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
130	150	100	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
131	100	80	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
132	400	300	5	0.0006	0.0007	ジャンカ
133	1500	700	5	0.0053	0.0063	ジャンカ
134	300	50	5	0.0001	0.0001	ジャンカ
135	150	200	5	0.0002	0.0002	ジャンカ
136	250	100	60	0.0015	0.0018	剥離・鉄筋露出
137	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
138	150	50	60	0.0005	0.0006	剥離・鉄筋露出
139	300	200	60	0.0036	0.0042	剥離・鉄筋露出
140	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
141	500	50	60	0.0015	0.0018	剥離・鉄筋露出
142	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
143	200	50	60	0.0006	0.0007	剥離・鉄筋露出
144	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
145	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
146	250	200	60	0.0030	0.0035	剥離
小計				0.0659	0.0776	

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
147	800	100	100	0.0080	0.0094	剥離・鉄筋露出
148	200	200	60	0.0024	0.0028	うき
149	150	100	60	0.0009	0.0011	剥離・鉄筋露出
150	200	120	50	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
151	150	300	60	0.0027	0.0032	剥離・鉄筋露出
152	350	100	50	0.0018	0.0021	剥離・鉄筋露出
153	200	150	60	0.0018	0.0021	剥離・鉄筋露出
154	450	200	50	0.0045	0.0053	剥離・鉄筋露出
155	200	120	50	0.0012	0.0014	剥離
156	150	150	60	0.0014	0.0017	剥離・鉄筋露出
157	200	100	60	0.0012	0.0014	剥離・鉄筋露出
158	50	50	60	0.0002	0.0002	剥離・鉄筋露出
159	200	200	60	0.0024	0.0028	剥離・鉄筋露出
160	100	50	60	0.0003	0.0004	剥離・鉄筋露出
小計				0.0300	0.0353	
合計				0.2144	0.2532	剥離・鉄筋露出

(c) 下部工

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
10	300	200	100	0.0060	0.0071	剥離
11	700	200	100	0.0140	0.0165	うき
合計				0.0200	0.0236	

(3) 台座コンクリート

No	W(mm)	L(mm)	t(mm)	補修材(m³)		備考
				ロス18%無視	ロス18%考慮	
①	400	150	50	0.0030	0.0035	剥離
②	100	100	200	0.0020	0.0024	うき
③	620	100	200	0.0124	0.0146	うき
④	600	120	200	0.0144	0.0170	うき
⑤	300	100	100	0.0030	0.0035	剥離
⑥	400	100	200	0.0080	0.0094	うき
⑦	500	100	70	0.0035	0.0041	剥離
⑧	250	150	50	0.0019	0.0022	うき
⑨	400	100	50	0.0020	0.0024	剥離
合 計				0.0502	0.0591	

(4) 防護柵基部

No	L(mm)	W(mm)	t(mm)	n(箇所)	補修材(m³)		備考
					ロス18%無視	ロス18%考慮	
①	400	300	30	1	0.0036	0.0042	剥離部
②	200	300	100	1	0.0060	0.0071	断面欠損部
合 計					0.0096	0.0113	

(5) 合計

体積 $\Sigma V = 0.0575 + 0.2144 + 0.0200 + 0.0502 + 0.0096 = 0.3517 \text{ m}^3$

重量 $\Sigma W = 0.3517 \times 2.35 = 0.8t$

7-2-7. 表面保護工

(1) 主桁及び横桁下面

$$a_1 = \frac{0.359 \times (0.3 \times 2 \times 2 + 0.2 \times 4 \times 2) + 1.0 \times (0.5 \times 4 \times 2 + 0.2 \times 4 \times 4) + 0.337 \times 25.0}{\times 5} = 50.3\text{m}^2$$

(2) 主桁側面

$$a_2 = \frac{(0.141 + 0.51 + 0.18) \times 2 \times 5 \times (20.0 - 0.2 \times 4) + \{(0.141 + 0.51 + 0.18) + 0.76\} \times 1/2 \times 2 \times 5 \times 2.0 \times 2 + 0.17 \times 2 \times 5 \times 25.0 + 0.76 \times 2 \times 0.2 \times 2}{\times 2} = 234.5\text{m}^2$$

(3) 床版下面

$$a_3 = 1.0 \times (25.0 - 0.5 \times 2 - 0.2 \times 4) \times 4 + 0.4 \times (25.0 - 0.3 \times 2 - 0.2 \times 4) \times 2 = 111.7\text{m}^2$$

(4) 横桁前面

$$a_4 = \frac{\{(1.0 + 1.2) \times 1/2 \times 0.1 + (1.0 + 1.2) \times 1/2 \times 0.15 + 0.51 \times 1.2\} \times 2 \times 4 \times 4 + \{(0.51 + 0.76) \times 1/2 \times 0.1 + 0.76 \times 0.4 \times 1/2\} \times 2 \times 2 \times 4 + 1.0 \times 0.76 \times 4 \times 2 + 0.76 \times 0.4 \times 1/2 \times 2 \times 2 \times 2}{\times 2} = 39.1\text{m}^2$$

(5) 地覆

$$a_5 = (0.19 + 0.02 + 0.316 + 0.02 + 0.25 + 0.05 + 0.23 + 0.05) \times 2 \times 25.0 = 56.3\text{m}^2$$

$$\Sigma a = 491.9\text{m}^2$$

したがって、橋梁全体の含浸材塗布面積Aは、

$$A = 6 \times 491.9 = 2951.4\text{m}^2$$

7-2-8. 塗装工

(1) 素地調整

(a) A部

$$A = 0.105 \times 3.14 \times (300.7 - 0.16 \times 96) = 94.1\text{m}^2$$

(b) B上部

$$A = 0.134 \times 3.14 \times 0.16 \times 96 = 6.5\text{m}^2$$

(c) B下部

$$A = ((2 \times (0.162 + 0.1065) + 4 \times (0.0184 + 0.072)) \times 0.37 \times 96 = 6.8\text{m}^2$$

(a、b、c) 合計

$$A = 94.1 + 6.5 + 6.8 = 107.4\text{m}^2$$

(2) 下塗

(a、b、c) 合計

$$A = 94.1 + 6.5 + 6.8 = 107.4\text{m}^2$$

(3) 中塗

(a、b、c) 合計

$$A = 94.1 + 6.5 + 6.8 = 107.4\text{m}^2$$

(3) 上塗

(a、b、c) 合計

$$A = 94.1 + 6.5 + 6.8 = 107.4\text{m}^2$$

7-2-2. 構造物撤去工

(1) 伸縮装置撤去

$$W = 195.6 \times 7 = 1369.2 \text{ kg}$$

(2) 鉄屑 (へビーH2)

$$W = 1,369.2 / 1000 = 1.37 \text{ t}$$

現場発生品及び支給品運搬

$$W = 1.37 \text{ t}$$

7-2-8. 仮設工

(1) 上部工下面補修用

$$A = 151.3 + 157.1 \times 4 + 153.1$$

$$= 932.8\text{m}^2$$